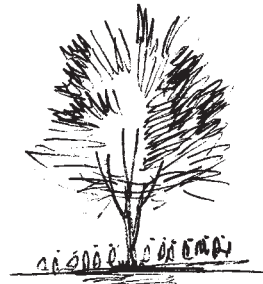


光の子



No.196 2020.7.1

●年間聖句 信じます。信仰のないわたしをお助け下さい。

(マルコによる福音書9章24節より)



「初 夏」

表紙絵・中島由起子

「未来をひらく」

学校の裏の青田にひろがれり

生前も死後も青くて学校田

卒業歌聞かず休校つづくなり

歩きゆく疎林涼しき水郷地

思ひ出はかがやきやまず夏点前

コロナ禍やこんなに青い草がある

鯉のぼり未来をひらく光の子

落合 水尾

(「浮野」主宰)

すこ〜し離れて、 心はもつと繋がって

理事 稲塚 由美子

2020年6月20日現在、新型コロナウイルスの特異性に翻弄され、治療薬やワクチンがつかられるまでの数年間、元の生活に戻ることはできないかもしれません。

「手洗い・マスク・1m離れて話す」を基本にして試行錯誤を繰り返して、近場から少しずつ外に開いていくしかありません。一気に患者さんが増えて医療崩壊を起こさないように留意しながら、人出の抑制と緩和を続けていくことになると思います。

『光の子どもの家』でも、幼稚園や学校が休みになり、強制「Stay home!」家になささい」に。コロナ禍真つただ中の暮らしについては、『光の子』の「プリズム」欄に、それぞれの職員さんが個性豊かに綴っています。

巷では、学校教育を家族が代替するような状況の中、オ

ンライン授業ができる環境とそもそも環境がない状態との格差が顕在化してドタバタが続きました。これからは、学校行くも、在宅でオンライン授業でも、「選択」できるよ

うになるといいですね。職員さんからは「やつと小中学校が再開しました。給食バンザイ！ 高校は来週からです。まだまだ制限がある中で生活なので、なんだか窮屈ですが、子どもたちは元気です(笑)」なんていうメールも来しました。

暮らしですから、子どもたちも職員さんたちも「笑顔とさどき顔引きつる」ことも当然あったことでしょう。それでも、子どもたちとの暮らしは営々と続きます。「何とかやっています」という報告がいかにも『光の子どもの家』らしい。続いていく暮らしの中で、あれがよかった、これ

がよかったなんて、ずっと後になってみなければ分からない。それでも「失敗しちゃった」ことこそを口に出せたら最高ですね。まるで柔らかな風が吹いているように。

『光の子どもの家』ではバザーも休み、理事会もオンライン、訪問者も制限せざるを得ない状況でした。自粛という手段により働き場を失った卒園生や奨学金とバイトで大学に通う卒園生たちへの支援も、光の子どもの家はできるだけのことをしていきます。卒業したからそれで終わりではないですよ。何歳になってもその人にとって安心できる相談相手や居場所が必要で、光の子どもの家としても考え続けます。

私事です、栃木県野木町の知的・身体障がい者グループホームにいる兄が、3か月間、東京こそ感染源とみなされ、往来不可になりました。毎週末、東京の私の家で過ごすのがダメになったのです。兄はグループホームの仲間や世話人さんとも仲良しですが、ずっと一緒だとイライラけんかもします。でも、お互いに、すこ〜し離れると、次に

帰ると「いないと寂しかったよ」となります。そこで頼るのはNPO『まごの手』さん。栃木県内ならOKというので、兄を連れ帰り、お風呂に入れ、食卓も囲み、心豊かなひと時を過ごさせてくれました。親族だけではできないことが起こります。近くにいらるから手を出し、「お互いさま」と言ってくれる『まごの手』さんがいてくれて、兄と私はとても幸せです。

その『まごの手』さんが開くお年寄りの居場所に、昨年『光の子どもの家』の子どもたちが訪問し、各々おばあちゃんやんとペアになって輪投げ競争をしたり、一緒にお茶とお菓子を頂いたりしたのですが、おばあちゃんたち、よほど楽しかったのでしょうね。「○○ちゃんは元気？」「どうしてる？」といつも訊いてきます。おばあちゃんたちにとっては、子どもたちは孫同然です。

昨年の台風19号被災でも思い知らされましたが、加えてこのコロナ禍で、物理的に近い方と助け合うことに、もう一歩踏み込んでいいのかもしれない。

プリズム

岩崎 まり子

6月に入り、少しずつ学校生活が再開される等これまでの「普通」の生活が戻り始めています。

この自粛生活の間、せっかくだから……、と生活を楽しむプログラム（思いつきとも言いましょうが）をいろいろ考えました。

中1の翔平からは

「どうして、そんなにやらせたいの？」

と冷ややかに言われたりもしましたが、オムライスの薄焼きたまご作りは、意外に皆、熱心でした。

「自分で作ると、楽しさ倍増だよ」

最初に私の口車に乗って……、じゃなくて、興味をもつて

「俺、やってみる！」

と名乗りをあげたのは小2の龍太でした。叩き方が弱々しく、なかなか卵を割ることも難しかったようですが、周りの野次に耳を貸すこともなく、一心にフライパンを見つめ、見事薄焼きたまごを作りまし

た。拍手喝采を浴び、緊張から放たれた彼の照れ笑いは何とも素敵でした。つられたように中高生も含め、次から次へと「俺も」「俺も」。

見栄えはそれぞれありますが、どれもピカピカ光っていました。何より、子どもたちそれぞれの反応が楽しく、「〇〇らしいな」と盛り上がりました。

そんな中、新メンバーの小4の哲之は、卵を割るところで失敗してしまい、毒舌メンバーにやんや言われると、涙を浮かべ自室へ行ってしまいました。

「あーあ、やっちゃった……」という雰囲気もありましたが、「あれだけで？」という思いもあったでしょう。正解などなく、手探りでつくっていく生活、関係です。お互い無理しすぎることなく、馴染んでいけたら、と思っ

ています。未だ、大変な日常を送られている方もいらっしゃると思いますが、どうぞご自愛下さいますように。

プリズム

新吉屋 健太

梅雨に入りました。新型コロナ感染症と共存する新たな生活様式の実践に、子ども達・職員ともに戸惑っておりますが、身の安全は何にも代えることが出来ないもの得心得で、日々を送っています。

皆様も、コロナ渦が完全に落ち着いたわけではないので、感染予防に注意されてお過ごしください。

さて早いもので、年度が替わり2ヶ月が過ぎました。例年でしたら行われているはずの様々な行事が、延期されたり中止されたりしました。

光の子どもの家では、設立以来、大切にしてきた毎月の誕生会。たくさんの方々に協力・支援されて行われてきた「小さくても大バザー」。学校行事では、運動会や授業参観です。

中止が決まってしまった行事に関しては、身の安全を守るためには致し方ないと割り切ってきた部分もあります。それでも心寂しいものがあります。延期の決まった行

事については、中止になることがなく、全うできることを切に願います。

各学校・幼稚園も通常通りにはいきませんが、通常に近いスケジュールで動き出しました。

私が籍を置く原田家には、今年度から新たに入学した子どもが3名おり、それぞれ幼稚園年少、小学1年生、中学1年生です。例年とは異なった入学式・入園式を終えてから、休校期間に入ってしまった。

そして今度は、不安・緊張・期待などさまざまな感情の整理ができないままの休校期間を経て、2ヶ月ぶりの学校生活・幼稚園生活が始まります。

今まで経験したことのない友達や先生とのやりとりで、心身共に疲れはてることもあるでしょうが、それを上回る力でこの苦しい年度を乗り切ってもらいたいと思います。それができたなら、子ども達がコロナに勝った経験は、大きくなって社会に出た際にもパワーになると、そう信じています。

新型コロナウイルス感染に取り込まれて しまった元研究者の話を聞いてください

老健施設紅寿の里 施設長 仙道 富士郎

前号の「光の子」に新型コロナウイルス（以下新型コロナウイルス）の話を投稿したのが、4月初旬である。あの時から約2か月が経った。この間、新型コロナウイルスは、明らかに地球規模で世界を揺るがしている。

最近、このウイルス感染が収まった後のことも想定内に入れて、「新しい日常（new normal）」という言葉が多用されているが、新型コロナウイルスの到来によって、従来の日常生活が様変わりせざるを得ない状況に追い込まれているという表現は、あながち誇張とは言えない。

従来ヒトに感染して病変を起す新型コロナウイルスは6種類知られていた。そのうち4種類の新型コロナウイルスはいわゆる風邪症候群を起すウイルスで、ヒトに対してほとんど致死的な影響は及ぼさない。2002年中国で初発し

た、致死率約10%のSARS、2013年中東で初発した、致死率35%のMERSがそれに加わって6種類となる。SARSとMERSの致死率は非常に高いが、感染したヒトはほとんどすべて激しい症状を起すので、更なる広がり食い止めるためには、症状を起こした人を標的にすれば事足りるということもあり、今回のような世界的に爆発的な蔓延には至らなかった。具体的には、SARSは全世界で約8000人に感染したなかで744人が死亡し、MERSでは約2500人に感染し、858人が死亡した。

ところが、5月30日現在で全世界の新型コロナウイルス感染者数は、587万8千人であり、死者数は、36万2千人で、桁違いである。ヒトに感染する7番目の新型コロナウイルスである新型コロナウイルスはそんなに凶暴なウイルスなのか。そうではない。事実、上記の全世界の感染状況から、現時点での新型コロナウイルスの致死率はSARS、MERSよりも低い6%と計算される。しかも、このウイルス感染の診断は難しく、現在報告されている感染者数の10〜20倍のヒトが感染していると言われている。事実上のヒトの致死率は1%以下になる。そんなに凶暴ではないのである。

どういうことか？賢明な読者諸氏が上記の事実から推定されたように、新型コロナウイルスでは、多くの感染者（現在では80%と推定されている）は感染しても、重症化することなく、無症状のままか、あるいは風邪症状だけで治癒してしまうのである（以下無症状感染者）。問題なのは、この無症状感染者の中には、治る前にウイルスを他人にうつしてしまふヒトが少なからず居るといふ事実である。或る研究では全感染の中で、75%はこの無症状者からの感染だと推定されている。

上記の状況から、二つの社会心理学的な現象が起ることは、想像に難くない。

1) たとえ1%以下といえども、新型コロナウイルスに感染すると、死んでしまふかもしれないという恐怖感を引き起こす。

2) 無症状感染者が周囲に居るかもしれないという疑心暗鬼の心が、巻き上がる。

しかも、新型コロナウイルスによって、世界的な経済状況が破壊されてしまい、多くの人は失職の恐怖に慄かなければならない状況に追い込まれている。

以上の話は、なにか新型コロナウイルスの専門家ぶった語り口に聞こえたかもしれないが、専門家などではない。ただ、この2か月間必死に勉強したことを、皆さんにお伝えしようとしているだけである。

世の中になにか異常事態が起こったときに、すぐ反応してしまう。今回も、一種の興奮状態に陥り、突如、新型コロナウイルスの猛勉強を始めた。4月末からの連休はほぼ毎日、パソコンに向かって新型コロナウイルス

の情報を書き、コピー機で複写して、何回も読みこんだ。80歳の頭脳は、大雑把なことを理解はするのだが、すぐに忘れてしまう。現役の研究者をしていたころに比較したら、数倍の労力を要する。ややあつて、自分のしていることの意味付けをしたくなつた。この異常な状態からの脱出を試みるための役割は世界中のすべての成人に付託されていると思う。退役してしまつた医学研究者とはいえ、何かお役に立てることが出来るのではないか。幸いにも(？)、新型コロナウイルス感染症の重症化機構には、私の専門である免疫が絡んでいるようである。しかも、重症化の末に感染者を死に至らしめる最後の引き金は、私の研究生活の最後に研究対象であつた好中球という名の細胞が引いていることは、間違いないようである。この好中球を何とかして、おとなしくして、引き金となることを思いとどまらせる道はないのか、夢の中も含めて、想いはグルグル回って留まることを知らない。

6月の幼稚園・学校再開状況

	1日～5日	8日～	22日～
幼稚園	慣らし保育	通常保育	
小学校	地区別分散登校	通常登校	
中学校	半日登校	通常登校	
県立高校	※学校ごとに異なる		通常登校

5月25日に政府の緊急事態宣言が解除され、学校も順次再開されました。施設として

光の子どもの家の
新型コロナウイルス感染症
対策の現状

の対策は、危機管理委員会を中心に検討し、状況に合わせて随時更新しています。ここでは6月22日現在の状況をお伝えします。

1. 生活において

- * 引き続き、毎朝の検温、手洗い・うがいの徹底、こまめな換気を実施します。
- * 外出時は原則としてマスク着用。当初は園内でも玄関を出たらマスクをするようにしていましたが、現在はしなくてもよいことになっています。
- * 全体で集まる誕生会は、4～6月は中止としました。7月から再開し、園庭で実施します。
- * 礼拝は園庭から室内に移しました。
- * 夏の風物詩である園庭のプールについては、今後検討します。

3. 来訪・来客について

- * 当初は、急を要する場合は除き延期をお願いしていましたが、現在は施設内での食事も含め可能としていきます。事前の連絡・調整をお願いいたします。
- * 感染者が多発する地域に在住・在勤・在学の方には、来訪をご遠慮いただく場合があります。
- * 子どもの外出は、当初制限していましたが、段階的に解禁しました。現在は、半径20km以内を目安に、混雑を避ければ可能としています。
- * 「2部制で、午前だけの日と午後だけの日が1日おきに切り替わる」「1日おきに学級の半分ずつが登校」「学年ごとに週1回登校」「もともとと少人数編成のため短縮日課で毎日全員登校」と対応が分かれました。
- * 子どもの外出は、当初制限していましたが、段階的に解禁しました。現在は、半径20km以内を目安に、混雑を避ければ可能としています。

2. 外出について

- * 学校等の再開状況は表の通りです。分散登校期間中の県立高校は、学校ごとに「2部制で、1週目は午前、2週目は午後のみ登

- * 卒園生の来訪、大学等の実習生、ボランティアの方の受入を、それぞれ再開しました。

共育ちカンガルー日記 (55)

春風の卒業歌

近藤 みちる

「卒業式の歌は『証』^{あかし}っていう歌だよ」

卒業歌のことを優希が話してくれたのは、小学校最後の学期となる6年生3学期が始まって間もなくのことだった。3月17日の卒業式に向けて卒業歌や呼びかけの練習も始まり、小学校生活もいよいよカウントダウンに入っていた。そんな矢先、衝撃的なニュースが飛び込んできた。新型コロナウイルス感染拡大による全国一斉休校である。学校から正式に知らせが来たのは2月末で、その翌日、優希たちは防災頭巾やお道具箱、絵の具セットなど学校で使っていた荷物を、持てる限り持たされて慌ただしく下校した。学校から詳しい説明は一切なく、休校期間も未定とのことだった。

休校はほんの1、2週間で解かれるものと樂觀していた。しかし待てど暮らせど学校再開の連絡は来ず、3月半ばになつて学校からようやく届いたのは、春休みまでの休校延長と卒業式の延期を告げる知らせだった。それを聞いた優希は、本当にながかりした様子でぼつりと言った。「お別れ給食、食べたかったのに」

「そう、最後の給食はお別れ給食と呼ばれ、卒業生へのはなむけとしてお祝い膳が振舞われるのが恒例となつていた。デザートにはケーキもつくという。優希はこのお別れ給食をみんなで食べることを楽しみにしていた。単にご馳走が食べたかったわけではきつとなく、そこには残り僅かな小学校生活をしっかりと心に刻んでおきたい、という優希の思いがあつたのだろう。」

これまで優希は、突然の休校にも一切の不平不満を言わず、素直に自粛生活を受け入れてきた。本来は予定の変更や環境の変化に弱いはずの優希である。それは学校の再開を信じて疑わなかったからだろう。だが、優希はここですつまでもしよげてはいなかった。「卒業式はぶつつけ本番になつちゃうね。まだ一度も体育館で練習したことないんだ。でも、きつとみんなちゃんと出来ると思うよ。絶対に大丈夫だよ」

そう言つて自らを鼓舞してみたのだ。いつの間になんかに強たくたくましく、そしてしなやかになつたのだらう。

「優希が大丈夫つて言うなら大丈夫だね。お母さん、卒業式が楽しみになつたよ」

「うん、優希も楽しみだよ」

その眼差しは、もうしつかりと前を見据えていた。

コロナ拡大が日に日に深刻化し、一時は開催すら危ぶまれていた卒業式だったが、3月26日に何とか規模を縮小して開催されることが決まつた。私はとにかくほつとした。卒業式当日は穏やかに晴れ渡り、青空の下、子どもたちは学校で久しぶりの再会を果たした。卒業生120名、晴れ着姿にマスクをつけ、どの子も少し緊張した面持ちだった。感染防止対策は厳重で、密を避けるため来賓と在校生の参列はなく、保護者も各家庭1名に限定された。会場となつた体育館は全ての扉と窓が開け放たれ、席も距離をとつて点々と設けられていた。会場に入ることが叶わなかった保護者達は、体育館の周りで中の様子を静かに見守つた。

時間短縮のため式次は卒業証書授与式と校長の言葉のみとされたが、証書の授与は校長から一人ひとりに丁寧に行われた。優希の言っていたとおり、子どもたちは本当にぶつつけ本番とは思えないほど、落ち着いて堂々と卒業証書を受け取っていた。その中に優希の姿もあつた。ふと、6年前に同じ場所で迎えた入学式のことを思い出され、6年という歳月の重みを思わず

にはいられなかった。
式の終わりに思わぬサプライズを受けた。式次にはなかった卒業歌が披露されたのである。ほとんど練習できなかったという卒業歌だが、指揮者がピアノ伴奏の音色と120名の歌声を一つに合わせ、それは美しいハーモニーとなつて会場を包み込んでいった。

前を向きなよ 振り返って
ちや 上手く歩けない
追憶の破片を敷き詰めた
ノートに
君の居ないページは無い
(flumpool「証」より)

開け放たれた窓から吹き込む優しい春風は、子どもたちの歌声を乗せて眩い光の中へと流れていった。卒業歌は春風と共に、外からそつと子どもたちの門出を見守っている保護者達の元にも、しっかりと力強く届いたことだろう。

卒業歌

ここから見える
海が好き みちる

プリズム

佐藤 義岳

6月から久喜市の図書館が再開し、入館できるようになりました。3月の休館から借りたままの本を返し、別の本を借りに行きました。

児童書コーナーへ行き、面出しされたおすすめ本や、特集コーナーの本をチェックします。利用者が少ない今は新刊も多く残っていました。

40冊ほど選んで、絵本を仙道家に届けます。本を入れ替えに行くのと、2階廊下の本棚はかき回されており、部屋の畳にも絵本が残されています。年少の男児3名は「まり子さん」に読み聞かせをしてもらい、自分でもよく本を読んでいるのです。

政宗は、表紙と裏表紙の絵がつながっている絵本が気に入っています。絵本を裏返しに広げて「つながってる」と喜びます。

亜紀は激しく動き回っていることが多いですが、じつとすわって絵本を何冊も読み続けることもあります。小学生になり、これからは絵本では

ない本も用意してあげた方がよいかもしれません。

光の子どもの家に近い「ノイエ」は、明治に建てられた古民家を移築した児童コーナーをもつ素敵な図書館です。

しかし、加須市の図書館は、まだ窓口で予約資料の受取ができるだけで、館内で本を選ぶことはできません。

倉澤家の樹里や茉優は、休校中に園内のマンガ（献品と新古書店で買ったものを合わせて図書室のようなスペースを作りました）を読んできましたが、最近は「マンガではない本のある図書館に行きたい」と言っています。

3月の終わりに牧野家に来た3歳の彩は、「もこもここの」の大型絵本やアンパンマンの紙芝居を見たら喜ぶことでしょう。

ノイエは7月から入館できるようにするそうです。楽しみにして待っています。

○ ここで困りごとを一つ。

図書館の本を借りるための利用者カードを作るとき、各児童相談所が発行する「受診券」を使います。居住地とし

て光の子どもの家の住所が記されているため、「在住」「隣接市在住」であることの証明となり、加須市や久喜市の図書館利用者カードを作ることができません。

埼玉県の各児童相談所（中央・南・川越・所沢・熊谷・越谷・草加）から措置されている子は、それでよいのです。

しかし、さいたま市児相から措置されている子は「受診券」に居住地の記載がないため、図書館利用者カードを作ることができません。

少しばかり受診券の様式を変えていただければ良いのですが、なんとかならないものでしょうか。



初めて入った他の家
ソファで飛び跳ね
カーテンぐるぐる

孫

彫刻家 中島 睦雄

孫は、本当に可愛らしい。らしいというのは少々問題あるが。

ただ私の場合、3人の孫がいるが、1人はもう一人前で職に就いている。2人の子はまだ小さい。

2人の孫のうちの上の子がつい先日、小学校の1年生として入学した。下の子は満2歳になったばかりである。

この2人とも私とは同居していない。息子夫婦と離れた地のマンションで暮らしているのである。したがってメチャクチャな可愛さとはいえない可愛さがあるのである。

やはり、一緒に暮らしていると、別暮らしとは全く違った面倒くささと、可愛さがあるものと言われたことがある。

その孫たちが、時々息子夫婦と我が家にやって来ることもある。2人の孫たちは、この田舎

での一瞬の時間を楽しみにしているようである。

まず、我が家の庭には沢山の自然植物が広がっていて、2人の孫たちはこの中を歩いて木の実を拾い、それをアスファルトのある所まで持って行き、転がして楽しんでいるのである。

また、枯れた木の葉を拾ってきて、小型の焚火をするのである。マンション暮らしでは、そのようなことはできない。

上の子は凸レンズを持ち出して、太陽光を一点に集めそれで枯れ葉に火をつけようとしていた。この子は多少知的に生意気なところがある。

また或る時は、鎌を持ち出して大きく伸びた草を刈り取ったりもしていた。

それだけではない。ノコギリを持ち出して細い竹を切ったり、シュロの木を切り取って細く広がった葉を持って、



中島氏宅の庭にて

周りにヒラヒラさせたり……。これらのことを考えると、マンションでの生活から、田舎の自然の中で、解放される楽しさがあるのかもしれない。

また、部屋の中では、私が寝ているベッドの横に使っていないベッドがあり、その上は荷物が乱雑になっているのだが、この一部を勝手に横へ押しつけて、そのベッドの上で飛んだり跳ねたりするのである。

「おい！よその家へ来たたら、もっと大人しくなくちゃ！」と言いたかったが、順調にい



光の子どもの家で咲いた紫陽花

けば、将来この家は、この孫たちの住まいになるわけである。それは、いつのことになるかはわからないが。いずれにしても、孫たちが我が家へ来ることを楽しみにしているように、私も彼等がやって来るのを楽しみにしているのである。

孫たちと私が一緒に住むことになるかも知れないし、或いは孫たちだけが住む時代が来るかも知れない。

それは、神様だけが知っているのである。

プリズム

池田 祐子

暑中おのみまい申し上げます。

彬は、4月から幼稚園年長になりました。でも、彬の気持ちちは、毎日ギザギザです。

寝る前に、退職した職員を思い出し、泣き出したことがあります。「会いたいよー」と、数十分泣いてしまいました。

また、ある夜は、「吉尚くんとあそびたい」と、前年度まで同じ家だった同学年の名前をよび、泣いていました。

関係ができてきた職員も他の家へ移動となり、新たに同じ家となった職員と関係をづからなくてはなりません。

様々なことが重なり、彬はトゲトゲの表現が増えます。

庭の砂場で他児に砂をかけてしまい、止められて、職員を叩いたり、蹴ったり、「おい！やめろ！死ね！」と、興奮してしまいます。

何がイヤなのか、どうしたいのか、話すことがうまくできず、暴言暴力になってしまいます。

職員の顔や体にひっかき傷

やあざができることも……。ついに、リビング入口ドア横のガラスをわってしまいました。

さすがに「しまった」と思ったのでしようか、施設長に謝って直してもらおう、と話し一緒にいくと「ガラスわってごめんなさい」と、泣きながら謝りました。

彬のギザギザトゲトゲは、大小の差はありますが、今日も続いています。

プリズム

橋本 寛司

コロナウイルスの渦中、国が緊急事態宣言を発令し、子ども達が一日中施設内にいる状態が続いた。

ある日、出勤すると中学生の子から「おはよう、ねえ今日何曜日？」と質問された。休みが続く曜日感覚が狂ってきたのだ。それ以降毎日のように子どもから曜日を聞かれるようになった。

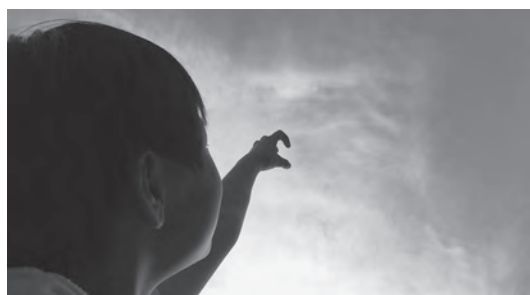
初めのうちは素直に答えていたが、毎日続くと嫌になってきた。だが、あることに気づいた。曜日を聞いてくるの

は中学生以上の年長児や、小学生でも自分のゲーム機等を持つている子だけだ。小学生以下のゲーム機を持っていない子は聞いてこない。

そこで小3の政宗に「ねえ政宗、今日何曜日？」と聞いてみると、「え？今日は水曜日だよ？」と答えた。見事に合っていたのである。しかもカレンダーを見ずに当たり前のように答えているではないか。

なぜ、大人でもカレンダーを見ないとわからない曜日かわかるのか。「ねえ政宗、なんで今日が水曜日だってわかるの？」と質問すると「ん？だって今日テレビで『ピタゴラスイッチ』がやってたから」と答えた。

更に政宗は「月曜日は『ミクリーズ』、水曜日は『ピタゴラスイッチ』、金曜日は『妖怪学園Y』、土曜日は『ウルトラマン』、日曜日は『ゼロワン』と『キラメイジャー』がやってるよ」と事細かに教えてくれた。日頃あまりテレビは見えていなかったが、テレビの有用性について知った瞬間であった。



雨が上がり、虹に手を伸ばす。学校もコロナ対策で在学期間が昨年度より短くなり、帰宅後に遊べる時間が増えた。

そんな中テレビっ子達に『魔進戦隊キラメイジャー』、キラメイレッド役の俳優、コロナウイルスにかかる』という衝撃的なニュースが飛び込んできた。それにより特撮業界は軒並み撮影が中止になり、放送時間枠には総集編が放映されることとなった。

そのことを政宗に伝えると一言「しょうがないよ、キラメイレッドだって人間だもの」。特撮ヒーロー好きな自分からしたら最新話が公開されないことを知った時はかなりショックであったが、政宗は微動だにしなかった。政宗はある意味自分より大人なのかも知れない。

改築に向けて

副施設長 小西 剛史

18年前、私が光の子どもの家の職員として仲間入りした時、世間はちょうど2002年日韓ワールドカップ開催で盛り上がりつつありました。まだ若かりし26歳だった自分は小学生のサッカー少年たちと職員宿舎のテレビで試合中継を観戦、気付いたら食事時間を過ぎてしまい子どもたちと共に先輩職員に怒られる……、という懐かしい思い出があります。

数字の並びが変わり2020年の今年、予定されていた東京オリンピックは延期になり、子どもたちと共に世界レベルのスポーツを間近で体感する機会はお預けになってしまいました。あの時共に怒られた悪友？のサッカー少年らは既に当時の自分の年齢を越え、それぞれ社会へと立ち活躍しております。18年という歳月が過ぎ、子どもたちは成人を迎え立派な

社会人となり、26歳だった自分は2回目の成人式を迎え立派なお腹になる中、光の子どもの家の建物と周りの環境だけはあの頃とほとんど変わらないのかな雰囲気のままです。

開設当初の1985年、周りを田んぼに囲まれた茶色い土の上に建てられたコンクリート打ちっぱなしの近代的な建造物。そのギャップがモダンでありつつも、植栽が全くない殺伐とした様相でもありました。それを見た地元の造園業者様のご厚意で緑を植えてくださり、時を経て豊かな園庭を作り上げ現在に至っている……、という経緯もあります。

植えられた木々が屋根よりも高く成長する中、竣工後35年を経た建物外観は見た目こそ変わらぬ佇まいではあります。内部の至る所では老朽化が目立ち始めておりまし

た。それらから改築に向けた話し合いの場が度々持たれるように。当初は全くの新しい建物へと建て替える案や近隣の別の土地へ新築する案などがありました。最終的には様々な思いや創造の上で建てられた堅固なコンクリートの建物（フレーム）は温存し、ライフラインや室内の改築を行うという方向で決定し、計画が進んでおります。

昭和から平成そして令和へ、3つの時代を経る中で生活様式も大きく変わりました。トイレや浴室、台所、居室など都度手を加えながら素人作業で工夫してまいりましたが、ペンキ塗りや修繕を重ねた石膏ボードの壁、歪で開け閉めが困難になった襖、地盤沈下による配管の劣化、雨漏り、居室のプライバシー化などなど大規模改修の必要性が生じてきており、今後5年間をかけた子どもたちの生活を守りながら順番に工事を進めていく計画であります。

詳細な設計、改築中の子どもたちの生活拠点、資金面など、まだまだ見通しが立たない事ばかりでのスタートでは

ありますが、これからの光の子どもの家の30年を見据えて今後も応援、アドバイスをいただけるとありがたいです。



1985年 開設当初



2020年 現在 建物が見えやすいよう、まだ緑の少ない冬の写真です。

子どもたちのかがやきとともに

— 光の子どもの家をお支えください —

若葉の間から降り注ぐ日差しがまぶしい季節になりました。たくさんの手作りマスクや消毒液や、さまざまな陣中見舞いを届けていただいたり、またお顔を合わせられない方々にも温かいお励ましをいただきました。皆さまにとっても大変な状況の中、あたたかくいつもお心遣いを寄せていただいていることに対しまして、心より感謝申し上げます。

先日戦隊ものの大好きな幼児が振り付きで「コロナやっつけてやる」と、ヒーローになりきっていましたが、そう簡単そうではありません。マスクをつけることにも慣れてきた生活の中で今度は熱中症対策もあり、「家」の生活場面では子どもたちはマスクをはずすことにしました。これからも対策をとりながら自身と他者を守ることの大切さを伝えてまいります。

昨年度から新たに、10名の子どもたちが仲間に加わりました。家にいることが推奨されながらも、実際は家にいることができない子どもたちがなんと多いことでしょうか。新たな環境のこの「家」が子どもたちが安心して過ごせる場所となることを願わずにはられません。楽しい思い出とは程遠い環境でここにやってきた子どもたちばかりとなりました。今年は短い夏休みですが、日々、どのように子どもたちの笑顔を増やしていけるのでしょうか。これからも共に暮らしていく働きを大切にまいります。

創立35年を経過し、光の子どもの家の設立の土台を大切にしつつ、この先を創っていく時期をいよいよ迎えています。建物の改築については年単位で考え始めておりますがその前提となる資金計画もゼロからのスタートとなります。私たちの想いだけではどうにもなりません。同時にいよいよ建物設備の老朽化は日々手を入れざるを得ない待ったなしの状況になりました。もともと地盤沈下の問題もあり、ライフラインの排水にも至急取り掛からざるを得ません。まず落ち着いた生活環境への手直しが必要です。追いつかないことばかりの現状があります。お願いばかりで心苦しいのですが改築に向けて暮らしの環境を整えることができますよう、また今必要なところに必要が満たされますよう皆さまのご支援をどうぞよろしく願いいたします。

皆さまのご健康が守られ、祝福が豊かにありますように。

社会福祉法人 光の子どもの家 理事長 大高晋一郎
光の子どもの家を支える会 代表 永野 三恵

郵便振替 00130-1-128022

他銀行からのお振込み

銀行名	ゆうちょ銀行	店名	019 (ゼロイチキュウ店)
預金種目	当座	口座番号	0128022
店番	019	金融機関コード	9900

日誌抄

2020年5月

【在籍児童数(5月末現在)】

幼児 5名 小学生14名
中学生9名 高校生7名
他 1名 計 36名

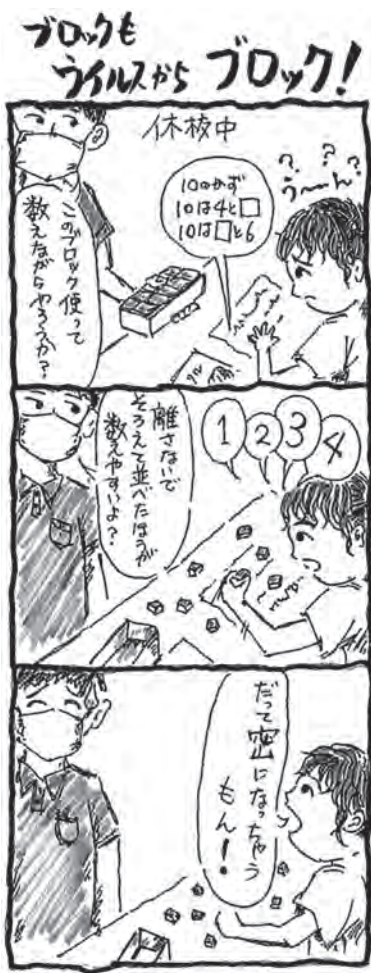
【5月】

1日 鯉のぼりを揚げる。風通しの良い場所に変更しよく泳ぐ。
16日 職員が地区の藻刈りに参加
17日 鯉のぼりを降ろす。長年使った風車が壊れた。
21日 倉澤家居室増に伴うエアコン設置完了。
22日 いつもより早い時間に夕礼拝。東埼玉バプテスト教会の木田浩靖牧師によるご奉仕に感謝。

【寄贈者各位】

相崎洋子 大西いずみ 小池みどり 櫻井秀夫 杉山和俊
鈴木康弘 田村信征 内藤芳江 丹羽吉康 古川景子
百瀬美恵子 森純江 湯澤眞彦 吉野久美子 加須市給食センター 加須市子ども食堂 応援隊 熊本慈恵病院 すくすく広場 (株)たかくら新産業商品センター 日本コカコーラ社 NPO法人羽生の杜 東大宮教会 (株)フレールベル出版本部 マルキチ物産 他多数の皆様

23日 園庭の害虫駆除のため消毒。
26日 事務棟雨漏りのため2階の窓を改修。
27日 園庭の藤の木の剪定と再生補修。



青空礼拝にて

～お知らせ～

中止した“小さくても大バザー”にご寄贈くださった物品は、来年度のバザー、または子どもたちの為になるよう使いさせていただきます。ご協力に感謝します。

～光の子どもの家 バザー委員会～

【発行】社会福祉法人 光の子どもの家 【住所】〒349-1155 埼玉県加須市砂原277-3
【電話】0480-72-3883 【FAX】0480-72-6649 【メール】hikarinoko@ceres.ocn.ne.jp
【Webサイト】http://www.hikarinokodomonoie.com/ 【振替】00130-1-128022
【印刷】(株)エル・アートデザイン